

経営理念検討シート

医療機関名 足立 優歯科診療所

・開業時から現在まで

(1)開業(事業継承)時の決意	(2)大切にしてきたこと
何がやりたかったのか？どんな志だったか？ どんな医療機関にしたいと考えたか？ 患者にとって真に素晴らしい歯科医師であること。	・誠意と情熱を持って患者に接すること。
人間性において	・常に真実を伝えること。
治療技術において	・援助者としての立場をとること。
そして私が担当した患者が、生涯にわたり歯を使い、 これによる幸福を享受すること。	・理に合わないことは行わないこと。 ・最善以下のことはやらないこと。
	・常に学び続けること。

・外に対する基本姿勢(現在から将来へ)

患者	患者の自己決定を支援し、常に最適最善の医療サービスを提供すること。
仕入先など	感謝の気持ちを忘れず、お互いが患者の豊かな生活と幸せを支えるパートナーとして共に 協力すること。
地域	より正しい情報を伝え、ひとりでも多くの方が口の健康がもたらしてくれる恩恵を 受けられるように努力すること。

・内に対する基本姿勢

スタッフ	社会の中で生きていくひとりの人間として備えるべき社会性を持ち、自らが自己成長 をし、自立していくこと、常に向上心を持ち、自己の能力を高め、患者と接すること。
------	---

・行動基準

自らが望むことを患者に対して行うことをモットーとし、常に患者の心を聴き、支援者と しての医療人の態度を持ち続けること



【1】 経営理念とは何か

「経営理念」とは、企業(医療機関)の活動の意義についての根本的な考え方を示したものです。「企業(医療機関)の目的は何か」(目的理念)と、そのために私たちは「どのように行動していくのか」(行動理念)を明確にします。

- 目的理念は、企業(医療機関)のあるべき姿であり、事業の目的・使命、社会的貢献のあり方 (対外的)と、働きがいのある企業(医療機関)づくり(対内的)の2つです。
 - 行動理念は、人間集団のあるべき姿であり、目的理念を実現していくための、全スタッフ共通の行動のあり方です。
- 目的理念、行動理念について、 科学性、 社会性、 人間性の視点を踏まえて明確にする事が重要です。

科学性

経営環境の変化に科学的に反応し、目に見えない消費者の潜在的なニーズを掘り起こし、それぞれの企業(医療機関)が特徴を発揮し、製品・サービスを社会に提供していくこと。経営の鉄則を踏み外さず、絶えず経営の革新に挑戦していくこと。つまり、経営環境の変化を冷静に見つめて、自分の企業(医療機関)が勝ち続けていくためにはどうすればよいかということ、冷静な科学の目で見る、そしてためらわずに自らの姿をも変えていく、そういう厳しさをもつこと、これが経営の「科学性」です。

社会性

企業(医療機関)は、単独で孤立して存在することはできません。支えてくれるさまざまなつながり、ネットワークの中で存在します。そういった社会の中での自分の企業(医療機関)の役割、位置付けなどを正しく自覚して、今ある役割、将来果たすべき役割を明確にして取り組むこと、つまり、企業(医療機関)が社会的諸関係の中で存在していることを自覚し、消費者、地域社会、スタッフ、仕入先、金融機関等に対する社会的責任を認識して、地域社会から信頼される企業(医療機関)づくりを目指していくこと。これが経営の「社会性」です。

人間性

今の時代は、それぞれの人が自分の得意な仕事をして、それを世の中に送り出し、その対価としてお金をもらう、そのお金で必要なものを買うという仕組みになっています。つまり、企業(医療機関)というのは、1人ではできないことをみんなで集まって、より効果的にやるための手段、道具なのです。まして1人1人は企業(医療機関)のために働いているわけでも、経営者(院長)のために働いているわけではないことを考えると、経営者(院長)は、働く人が得意な仕事をすることを手伝い、それを必要としている人たちにお届けする、コーディネーター役だと見ることができます。

「企業(医療機関)は利益追求の手段」「スタッフは利潤獲得の手段」と考えるのではなく、「世の中の役に立つ仕事 - 価値を生み出すための信頼し合えるパートナー」と考える必要があります。この視点を貫くことが、経営の「人間性」です。全スタッフが誇りの持てる医療機関作り、将来性のある医療機関作り、夢が持て、安心して働ける医療機関作り、働くことを通じて、生きがいと豊かな人間形成のはかれる職場作りがされることをめざし、取り組まれることが理想です。



【2】 経営理念を書くためのポイント

「利益」は、企業(医療機関)の目的なのかどうか。これが、経営理念を書く際の根本的な問題です。

企業(医療機関)の目的・使命はあくまでも社会貢献であること、利益は企業の社会的貢献の結果であり、社会的貢献を果たすための原資、資本コストであると認識することが大切です。

気張らず、構えず、常識的で平易な言葉を選び、簡潔に、箇条書きで、せいぜい5項目以内でまとめます。

経営理念をアピールする、いろいろな場面を想定して見直します。患者、取引先、取引銀行の支店長に向かって、またスタッフ採用の面接で志望者に対して、企業(医療機関)内の朝礼の時に読み上げることも想定してみてください。

その企業(医療機関)らしく、個性豊かで、その企業(医療機関)の顔を表しているものになるよう、練り上げていってください。

経営理念は、きわめて原則的なものです。

その中身は奥深く、厳しいものです。単に明確化に終わることなく、経営者自らが率先垂範し、経営理念が経営者の体からにじみ出るものでなくてはなりません。そして経営理念を「社風化」し、経営理念に恥じない風土作りに取り組むことが求められます。

【3】「経営理念検討シート」記入時の3つのポイント

白紙から始めるのが困難な場合は、試しに「経営理念検討シート」を書いてみます。

「開業から現在まで」の経過を振り返りながら、「現在から将来へ」向けて、大事にしていきたい「基本姿勢」を抽出し、明確にしていくためのものです。

- 「開業時から現在まで」の記述では、「開業の時」あるいは「事業を継承したとき」の決意を 振り返ってみてください。もう一度、開業時の決意に戻って、経営理念を検討してみることが大切です。
- <ひながた>を参考に、箇条書きで3項目～5項目にまとめてみてください。

<3つのポイント>

外に対する基本方針

- 医療機関の外に向けての宣言

患者、仕入先、協力会社、地域社会、取引銀行、その他支援先に対してそれぞれどのような基本姿勢でのぞむのか

内に対する基本方針

- 医療機関の内に向けての宣言

院長、経営者、スタッフに対してそれぞれどのような基本姿勢でのぞむのか

ex.) スタッフを利益追求の手段と考えるのか？信頼しあえるパートナーとして対応するのか？

基準行動

- 社内の合言葉としての宣言

の基本姿勢を保持するために、このような行動だけは大事にしていきたいということを掲げる。



「経営理念検討シート」作成のポイント

< 基本的考え方 >

1. 外に対する基本姿勢
2. 内に対する基本姿勢
3. 基準行動

< ひながた >

1. ○○○は、
(当医療機関) ●●●●●を通じて、
(医療サービス) (社会)(産業社会)(消費者・生活者)
(事業定義) (世の中のお役に立ちます)
2. ○○○は、
(当医療機関) スタッフの 生活向上 を実現します。
(職員・従業員) (幸せな人生) (追求)
(生きがいある人生)
3. ○○○は、
(当医療機関) を 旨とします。
(患者第一主義) (モットー)
(限りなき挑戦) (大切に)
(患者と共に成長)